

C 平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業(不特定多数の者対象)

No.	区分①	区分②	【Q】	【A】
C15	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	基本研修	基本研修(講義)の遅刻、欠席はどのように取り扱えばよいか。	基本研修(講義)については、原則として全課程に出席することが必要であるが、真にやむを得ない理由による遅刻、欠席であつて、担当講師が認める場合には、当該担当講師による補講※をもって受講にかえることができる。 また、先の場合で補講による受講が困難な場合は、当該講義のDVD視聴により受講とみなすことが可能であるが、この場合には遅刻又は欠席の累計が基本研修(講義)の1割を超えないものとし、DVD視聴については、その場で質問等を受けられる体制のもと都道府県又は研修実施機関の担当講師の監督下において視聴する必要がある。(自宅等での監督下でないDVD視聴は不可である。) ※ここでいう補講とは、担当講師が基本研修(講義)と同等の講義を実施するものをいう。
C16	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	基本研修	基本研修(講義)について、別表1の時間に休憩時間を含むことは可能か。	別表1の時間は、講義の実時間であり、休憩時間は含まない。休憩時間を設ける場合には、講義時間とは別に設定いただきたい。
C17	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	基本研修	基本研修(講義)のうち、救急蘇生法については、指導者講習を受講した医師又は看護師が同席している場合には、救急救命士に依頼し実施することは可能か。	差し支えない。
C18	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	基本研修	筆記試験は、講義50時間を修了していれば受けることができるか。演習を修了していることが必要か。	講義50時間を受講していれば、筆記試験を受けることが可能である。
C19	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	実地研修	実地研修においては、医師又は指導看護師が立ち会い、指導の下に実施する必要があるか。	そのとおり。
C20	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	実地研修	ヒヤリ・ハット報告の参考様式はあるか。	別添を参考様式としていただきたい。
C21	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	実地研修	実地研修実施要領における、医師の書面による必要な指示として必要な事項は何か。	介護職員等による喀痰吸引等の実施の可否、喀痰吸引等の実施内容、その他必要な事項について、利用者個別に対する指示を文書で受ける。
C22	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	演習 実地研修	演習、実地研修において、「成功」とは、評価票で全ての項目の評価が「ア」となったときを指しているか。	そのとおり。

No.	区分①	区分②	【Q】	【A】
C23	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	演習	演習において、所定の演習期間内に修了の基準に達しない場合等について、どのように判定を実施するか。	都道府県又は研修実施機関において合否判定委員会等を組織し、最終的な判定を行うこととする。合否判定委員会には、研修の講師である医師、看護師を含む複数の者で構成することとする。
C24	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	実地研修	実地研修において、所定の回数で基準に達しない場合等について、どのように判定を実施するか。	都道府県又は研修実施機関において合否判定委員会等を組織し、対応及び判定を行うこととする。合否判定委員会には、研修の講師である医師、看護師を含む複数の者で構成することとする。
C25	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	基本研修	実施要綱 4 において、試験問題の作成にあたっては、専門領域の異なる複数の委員が参加する、とあるが、具体的にはどのような専門領域を指しているか。	カリキュラムに含まれる、人間と社会、保健医療制度とチーム医療、たんの吸引、経管栄養等の各科目について、医師、看護師、その他当該分野について学識経験を有する者を想定している。
C26	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	実地研修	胃ろう・腸ろうの実地研修において、居宅において実施する場合であっても、胃ろう・腸ろうの状態に問題のないことの確認は1日1回以上指導看護師が行う必要があるか。	そのとおり。1日1回以上指導看護師が確認する必要がある。
C27	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	演習 実地研修	気管カニューレ内部の吸引の評価票において「水」とあるのは滅菌精製水を意味しているか。	そのとおり。詳細については、(社)全国訪問看護事業協会のホームページに掲載されている「介護職員によるたんの吸引等の研修テキスト」「介護職員によるたんの吸引等の研修テキスト～指導上の留意点～」正誤表ならびに補足説明 No1 (http://www.zenhokan.or.jp/pdf/new/kyuuin-text-4.pdf)を参考にされたい。
C28	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	演習 実地研修	人工呼吸器装着者に対する吸引の実地研修を実施する場合、演習においても人工呼吸器を装着している場合について、別途、演習を実施する必要があるか。	そのとおり。その際、別途人工呼吸器を装着している場合について、別表に示す回数以上、実施する。
C29	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	演習 実地研修	胃ろう・腸ろうについて、半固形の栄養法を実施する場合については、どのように取り扱えばよいか。	テキスト I のP124のとおり半固形の栄養剤を実施する場合には、通常の講義・演習・実地研修に加え、別途十分な講義・演習・実地研修を実施し、安全性の検討後行うことが必要である。
C30	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	全体	病院又は診療所で実施している通所リハ、訪問リハに従事する介護職員等は、本研修事業の対象者に含まれるか。	本制度においては、病院・診療所は登録事業所の対象外とされており、これらに該当する事業所の職員は研修の対象者とはならない。

No.	区分①	区分②	【Q】	【A】
C31	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	全体	特別養護老人ホーム、老人保健施設等高齢者施設で従事する職員は不特定多数の者対象の研修事業を受講するものであり、特定の者の研修事業の受講者には該当しないと考えが、いかがか。また、介護保険施設以外の介護保険サービスに従事する職員に関しては、どのように考えればよいか。	そのとおり。 特定の者対象の研修事業は、ALS等の重度障害者について、利用者とのコミュニケーションなど、利用者との個別関係性が重視されるケースについて対応をするものであり、事業として複数の利用者に複数の介護職員がケアを行うことが想定される高齢者の介護施設や居住系サービスについては、特定の者対象の研修事業の対象としない予定。また、その他の居宅サービスについては、上記の趣旨を踏まえ、ALS等の重度障害者について、個別関係性を重視したケアを行う場合に、特定の者対象の研修を実施していただきたい。
C32	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	基本研修	「平成23年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金 訪問看護と訪問介護の連携によるサービス提供のあり方に関する研究調査事業～介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修カリキュラム等策定に関する研究事業～(社団法人全国訪問看護事業協会)」において作成した「介護職員によるたんの吸引等の研修テキスト」(以下、テキストという)のテキストⅡのP4に「施設においては、毎朝又は当該日の第1回目の実施時に状態を観察する。」とあるが、第1回目深夜の場合にもそれを第1回目として観察が必要なのか。	「毎朝又は当該日の第1回目」としており、朝に状態を観察することでも可能である。また、朝の時間帯については特段定めていないため、利用者の個別の状態に合わせて対応していただきたい。
C33	平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業	基本研修	吸引や経管栄養の実施時の前提として感染防御の標準予防策は教えないのか。	感染防御の標準予防策については、それぞれ行為別ではなく、テキストⅠの第4章に示しており、前提としての理解されているものと考えている。